

第1学期末のアンケート調査結果について

錦秋の候、保護者の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より本校教育活動にご支援・ご協力を賜り誠にありがとうございます。7月末に皆様方にご協力をいただきましたアンケートの結果について、次の通りお知らせいたします。

そう思う…A だいたいそう思う…B あまり思わない…C そう思わない…D としています。数値は%表示です。

1 豊かな心の育成について

(1)「学校が楽しい」と思う(感じている)。

	A	B	C	D
児童	72	23	3	2
保護者	48	44	8	1

(3) 道徳の時間は楽しい。

	A	B	C	D
児童	62	26	8	4

(5) 自分にはよいところがある(よさに気付いている)。

	A	B	C	D
児童	42	29	14	15
保護者	32	54	13	1

(8) 相手の気持ちを考えて行動している(できる)。

	A	B	C	D
児童	59	34	5	2
保護者	29	61	9	1

(2) あいさつや返事をしている。

	A	B	C	D
児童	67	27	4	2
保護者	37	51	11	1

(4) 時間やきまりを守って生活している。

	A	B	C	D
児童	63	31	4	2
保護者	25	56	16	2

(7) 友達のよいところに気付くことができる(気付いている)。

	A	B	C	D
児童	63	29	5	2
保護者	46	49	5	0

(9) みんなで何かをすることは楽しい(と感じている)。

	A	B	C	D
児童	83	12	4	1
保護者	63	31	6	1

「道徳の時間は楽しい」では、A+Bが88%と高い結果となりました。道徳は学校として昨年度から力を入れて取り組んでいる教科であり、授業中は様々な意見が出され、積極的に話し合いが行われております。「みんなで何かをすることは楽しい」はAが83%と大変高く、昨年度と比べ、コロナ禍でもできること(遠足・校外学習・水泳学習・外遊び等)が増えてきたことへの評価とします。あいさつに関しては保護者評価が低く、職員アンケートでも肯定的評価は52%と高くはありません。1学期を通して各学年でも重点的に指導を継続し幾分改善されてはいますが、2学期以降も継続指導が必要です。(5)の自己有用感の数値も高くありません。今後も称賛し、認め、励ます指導に力を入れていきます。

2 確かな学力の育成について

(1) 授業が分かる。

	A	B	C	D
児童	66	28	4	2

(3) お子さんは、授業の内容を理解している。

	A	B	C	D
保護者	27	59	8	1

(5) 自分から進んで学習している。

	A	B	C	D
児童	56	32	8	4
保護者	24	39	30	7

(2) 自分の考えを進んで書いたり伝えたりしている。

	A	B	C	D
児童	52	33	11	4

(4) ICT機器利用の授業は楽しいしよく分かる。

	A	B	C	D
児童	78	18	3	2

(6) 家庭学習の時間分、勉強をしている。(学年にあった家庭学習をしている)

	A	B	C	D
児童	57	30	10	3
保護者	33	41	19	7

(1)～(3)について、児童のA+Bの数値はどれも85%以上で概ね良い結果です。しかし、A「そう思う」だけを見ると、楽観はできません。子供たち一人一人が今以上に自信をもって「よく分かる」と答えられる授業を展開していけるよう努めていきます。一方、(5)のA56%・B32%は頼もしい数値です。先生方の教材研究による学習意欲を高める授業の展開の成果と考えます。(4)のA78%も大変高い数値であり、本校の一人1台端末の授業における積極的活用が児童の学習意欲の向上と学習内容の理解につながっていると考えます。

3 健やかな体の育成について

(1) 早寝、早起きをし、朝食を食べている。

	A	B	C	D
児童	63	27	5	4
保護者	47	40	10	3

(3) けがや病気の予防に心がけて生活している。

	A	B	C	D
児童	73	21	4	2
保護者	35	51	13	1

(5) 交通ルールやマナーを守っている。

(学校は交通ルールやマナーを守るよう指導している)

	A	B	C	D
児童	85	13	2	1
保護者	42	53	4	1

(2) 進んで運動や外遊びをしている。(体づくりに進んで取り組んでいる)

	A	B	C	D
児童	67	22	8	3
保護者	33	38	25	4

(4) テレビ、PC、ゲームを使用する場合は時間やルールを守っている。

	A	B	C	D
児童	72	21	3	4
保護者	29	42	23	6

(6) 新型コロナ対策を心がけている。

(お子さんは新型コロナ対策を意識して生活している)

	A	B	C	D
児童	80	17	2	1
保護者	54	41	4	0

「早寝・早起き・朝ごはん」については、定着している様子です。別の調査でも朝食摂取率は9割を超えています。今後は100%を目指したいです。(2)については昨年よりも外遊びの機会を増やしてきましたが昨年同様の数値でした。また、(4)のゲーム・PCのルールに関しては、児童が9割以上「守っている」と答えているのに対し、保護者は3割近く「守っていない」としています。今一度家庭内のルールについて親子でご確認ください。(5)(6)についてはABが大変高い数値となっています。交通ルールや新型コロナ対策など、学校でも日常的に指導され、おうちの方からも話をいただいている成果と考えます。手洗いやアルコール消毒、マスクの着用、黙ったままの給食等々がすっかり習慣となっていることを感じます。早く新型コロナウイルス感染症が収束し、子供らしい歓声や活気があふれる学校に戻れることを願います。

4 その他

(1) 先生は相談しやすく、親身に聞いてくれる。

	A	B	C	D
児童	70	24	3	2
保護者	21	55	19	5

(2) 先生は自分(児童)のことを理解してくれている。

	A	B	C	D
児童	70	24	4	3
保護者	23	65	10	2

(3) 学校は、学校の様子が分かるように、ホームページや各種たよりで情報提供をしている。

	A	B	C	D
保護者	21	58	18	3

(1) 「先生は相談しやすい」は児童のAが70%、A+Bでは94%という結果でした。児童・保護者ともにC+Dを0(ゼロ)にできるよう努めます。コロナ禍で様々な学校行事・PTA行事などが中止・規模縮小を強いられておりますが、今まで以上に児童や保護者の皆様の声に丁寧に耳を傾けていけるよう努力してまいります。(2)も児童はA+Bで94%です。1学期にも何度か学級全員の児童との個別面談を実施しています。今後も子供たちの信頼をさらに高められるよう子供の気持ちに寄り添っていきたく思います。(3)についても、引き続き情報提供に努めてまいります。

5 保護者の皆様からいただいたご意見について

保護者の方からのコメントは33件ありました。新型コロナウイルス感染症に関するものがやはり多かったですが、先生方や学校への要望、ねぎらいや感謝のコメント等がありました。

新型コロナに関しては、子供たちのストレスの心配から外遊び、読書、様々な体験や経験、行事、プール学習、集団での活動や交流の制限などに関する意見がありました。新型コロナの対策については、県や市の感染状況を注視しながらできることを工夫して、できるだけ子供たちの健康と明るい笑顔を守ろうと取り組んできました。どこまでの対策が必要なのかは今後も考えていくところです。

授業や宿題についてのコメントも多くありました。主体的に学ぶ力、確かな学力を身につけられるよう、授業や宿題の出し方等についてもさらに職員で検討していきたく思います。

学校の様子やICTの活用については是非お子さんに話を聞いてもらいたいと思います。学校に訪れる機会や先生方とのコミュニケーションの機会が極端に制限される今般、ご家庭でお子さんから学校の様子を聞き、そのことを親子の話題・コミュニケーションの一つとしていただければと思います。

児童一人一人を大切にすると共に、集団の中での生きる力を育てていくことも大事にしていきたいと思っております。今後とも、ご理解ご協力をお願いいたします。